DJ-P322 セットモードについて

DJ-P322 特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするためにカスタマイズすることができます。製品に付属する説明書の「セットモード」の項目で簡単に使い方をご説明しておりますが、無線機の機能になじみの無いお客様向けに、本書にて詳細をご説明します。

*文中のローマ字はディスプレイの表示、「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の設定です。

セットモードの操作：
キーロックがかかっていれば解除した後、FUNC キーを押したまま、素早く GROUP/SET キーを押し、すぐに指を離します。ローマ字表示が出たらセットモードです。FUNC キーだけを押し続けているとキーロックがかかるのでご注意ください。（同じ長押しで解除できます）
・▲▼キーでメニュー内の設定値を変更できます。
・FUNC キーで昇順、GROUP/SET キーで降順にメニューが選べます。
・設定が済んだら PTT キーを押します。運用画面に戻ります。機能によってはオン状態を示すアイコンが表示されます。

1: 電池選択機能「bAt」
設定値 AL／ni（初期値 AL）

減電池アイコンで電池残量を正しく表示させるため、お使いの電池に合わせてください。誤った設定にしても不具合の原因にはなりませんが、減電池表示は不正確になります。
AL　：アルカリ乾電池
ni　：ニッケル水素充電池 EBP-179

2: コンパンダー機能「CmP」
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）　ON 時のアイコン：音符

コンパンダー機能を ON に設定すると、通話中、音声が無いときに「サー」と聞こえるかすかなバックノイズを低減することができます。

・コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には必ず OFF にしてください。逆に音質が悪くなることがあります。
・他社製の特小トランシーバーでもコンパンダー対応機であれば ON でお使いになれます。

3: VOX 機能「vo」
設定値 OFF/Lo/Hi（初期値 OFF）ON 時のアイコン：*

「話すと送信、黙ると受信」のハンズフリー通話が可能になります。
Lo：VOX 感度 小（大きめの声でないと送信しません。周りがうるさく、黙っていても送信してしまうようなときにお試しください）
Hi：VOX 感度 大（小さめの声でも送信します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

・弊社純正品でも一部のオプションマイクは対応しません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を「Lo」に設定しても送信してしまうような騒音の大きい場所では VOX 機能はお使いになれません。
・声を感知してから送信を始めるまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れて聞こえる場合があります。「了解です、～～～」「はい、～～～」など、用件に入るまでに頭切れしても差し支えない言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

4: 秘話機能「Scr」
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）ON 時の表示：「秘話」

ON にすると、設定していないトランシーバーで受信したときに「モガモガ」と濁った音になり、通話内容が聴き

取れなくなります。同じ機能（スクランブルとも言います）を搭載した弊社製トランシーバーであれば、機種が違っても通話できます。

・本機能のセキュリティレベルは非常に低いものです。秘密の通信に使えるレベルのものではありません。秘話設定の声に違和感があるときは、拡張セットモードで秘話周波数設定が変更されている可能性があります。拡張セットモードの説明は本書と同じダウンロードコーナーでご覧になれます。
・弊社の旧機種や他社製品の秘話と混用した時は通話内容が聞き取りづらくなったり使えなくなったりすることがあります。
・中継通話、グループトークでもお使いになれますが、音質が変わることがあります。

5: ビープ音量「bP」
設定値 0 ～ 5（初期値 3）

本体から鳴るビープ音（操作音）の音量を変更することができます。
数値を大きくすると音量が大きくなり、「0」に設定するとすべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音など）が鳴らなくなります。

イヤホンを使用した状態でビープ音量を 5 に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

6: エンドピー機能「EdP」
設定値 OFF/ON/PP（初期値 OFF）

エンドピーは送信が終わったことをビープ音で相手に伝える機能です。受信信号の強度(レベル)に合わせてエンドピーを鳴らす「エンドピピ」機能はアルインコの特許で、テールノイズキャンセラーまたはグループトークを設定した弊社製トランシーバーからの信号のみ動作を保証しています。

ON : エンドピー
PTT キーを放したときに「ピッ」と鳴って送信が終わったことを相手に伝えます。「エンドピー」は送信側で鳴るので、他人に音を聞かせたくないときは自分の設定をオフにします。

PP : エンドピピ
受信終了時に、強いレベルの信号を受信したときは「ピッ」、少し弱いレベルの信号を受信したときは「ピピッ」、非常に弱いレベルの信号を受信したときは「ピピピッ」と鳴ります。「エンドピピ」は受信側で鳴るので、自分がピピ音を聞きたくないときは設定をオフにします。

※連結中継時のアクセス音、エンドピー設定は拡張セットモードで別途設定します。この設定は連結中継時は反映されません。

7: ベル機能「bEL」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）ON 時のアイコン : ベル

呼び出されたことをベルアイコン表示とベル音でお知らせします。
・着信すると１０秒間ベル音が鳴ります。何かキー操作をすると止まります。キー操作するまでベルアイコンが点滅して、着信があったことをお知らせします。
・一度お知らせしたら、待ち受け状態が約 10 秒以上続くまで動作しません。
・グループトーク設定時は、グループ番号が合わない信号を受信しても動作しません。
・後述のバイブレーター機能と併用できます。

8: ランプ機能「LmP」
設定値 OFF/5 秒/ON（初期値 5 秒）

液晶ディスプレイの照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作（ＰＴＴと音量調節以外）をすると自動的に 5 秒間照明が点灯します。

・ディスプレイ照明を ON（常時点灯）に設定すると、電池の消耗がとても早くなります。

9: PTT ホールド機能「HLd」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

PTT キーを一度押すと送信状態を継続、もう一度 PTT キーを押すと受信状態になります。送信中ずっと PTT キーを押さなくて良いのでハンズフリーになります。一部のイヤホンマイク・ヘッドセット系アクセサリーで PTT キーロック機能が無いものをお使いになるときにロック代わりに使うこともできます。

PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10: PTT オン／オフ機能「Ptt」
設定値 OFF/ON（初期値 ON）

送信を禁止する機能です。OFF に設定後 PTT キーを押すと【Ptt oFF】と表示され、送信できなくなります。ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで、返事はしなくてよい」メンバーがいるとき等に使います。
メモ）この「ラジオ」のような無線機は業務通信の用語で「受令機」と呼ばれています。

11: 中継器接続手順変更機能「At」
設定値 OFF/ON1/ON2（初期値 ON2）

中継器の接続タイミングを機種に合わせて最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありませんし、変更しても何の影響もありません。

oFF ： 自動接続手順解除
on1 ： DJ-R20D、DJ-R100D を中継器とするとき
on2 ： DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R、DJ-R200D、DJ-U3R を中継器とするとき

12: イヤホン断線検知機能「EAr」
設定値 OFF/ON（初期値 ON）

本体に接続したイヤホン（イヤホンマイクのイヤホンも含む）コードの断線を検知する機能です。ON に設定すると起動時に検知動作を行い、断線していると判断すれば 10 秒間、[Ear-nG]表示と内蔵スピーカのアラーム音でお知らせします。

13: コールバック機能「CLb」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

コールバック機能を ON に設定すると、イヤホン（イヤホンマイク）使用時に送信中の自分の声をモニターすることができます。「話したつもりだったが、送信できていなかった」といった PTT キーの操作ミスを防げます。

・DJ-P322 本体内蔵のマイクやスピーカマイクではハウリングを起こすので、正常に使えません。

14: 送信出力設定「PwL」
設定値 Lo/Hi（初期値 Hi）

送信出力を変更することができます。

Hi ： 10mW 出力
通常の設定です。理由が無い限り変えないでください。電池の持ちは Hi も Lo も大きく変わりません。

Lo ： 1mW 出力
b12～b29 チャンネルでは３分タイムアウトの制限を受けず、連続送信ができるようになります。ガイドシステ

ムのような送信し続ける必要が有る用途向けですが、通話距離は数十メートル程度まで狭くなります。
他人に通話を聞かれるリスクが低くなるので、常に至近距離で通話するときにもメリットがあります。

15: 緊急通報機能「EmG」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

ON に設定すると、GROUP キーを 3 秒間押し続けることで「EmG-on」と表示され内蔵スピーカから緊急通報音が鳴り、同じチャンネル（グループ）に警告音を送信します。緊急通信機能はキーロック中でも有効です。

・緊急通報音を停止するには PTT キーを 1 回押してください。
・ビープ音の設定が OFF の時は緊急通報音が鳴らず、緊急を発報した無線機のマイクが拾う周囲の音を送信します。緊急警報することを周りの人に知られたくないときの設定です。
※一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
※緊急通信機能を OFF に設定しているときは、GROUP キーを 3 秒間押しても警報は発報されません。
（デュアルオペレーションモードのサブ側チャンネル登録）

16: 受信音ミュート「rmt」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

イヤホンマイクを装着時に、イヤホンマイクの PTT キーを一度短く押すと受信音をミュートできます。
再度同じ PTT キーを一度短く押すか、トランシーバー本体のキー操作をするか、自動解除に設定した時間が過ぎたらミュートは解除されます。接客などで普通の会話をする時に、イヤホンからの声が煩わしい時に素早く受信音を消すことができ、ミュート解除を忘れても自動で復帰してくれるので安心です。

・VOX、PTT ホールド、デュアルオペレーションモードとの併用はできません。
・受信音ミュートを使うと、PTT 操作がミュート用かどうかを判断するため、送信を始めるまでにわずかな遅延が起こります。送信のために PTT 操作をしたときは、一呼吸おいてから話し始めてください。急いで話すと頭切れが起こります。

17: バイブレーター機能「vib」
設定値 OFF／ON1／ON2／ON3（初期値 OFF）ON 時のアイコン：M

着信バイブレーター機能です。振動タイプは 3 つのパターンから選択できます。
・着信すると１０秒間振動します。何かキー操作をすると止まります。
・一度動作すると待ち受け状態が約 10 秒以上続くまで振動しません。
・グループトーク設定時は、グループ番号が合わない信号を受信しても振動しません。
・前述のベル機能と併用できます。
・振動が頻繁に起こるような環境では、電池の減りが早くなります。

以上

アルインコ(株) 電子事業部